

県内屈指の逸品揃い 時代雑特別公開

紅花資料館 1月12日(土)～4月10日(水)



紅花資料館及び收藏資料
(旧堀米家)

江戸時代、紅花商人(豪農)として活躍した堀米家の屋敷。長門屋を構え、堀と塀を設けて敷地を囲んでいます。座敷蔵、御朱印蔵、母屋、武者蔵、雛人形、紅花染め衣装などが残っています。敷地内には紅花畑もあり、7月上旬に咲き誇ります。

■開館時間 (閉館時間)
3月～10月 9:00～17:00 11月～2月 9:00～16:00

■休館日 年末年始・第2木曜日

入館料	一般	高校生	児童生徒	年間入館券
個人	400円	150円	70円	A 2,000円 1回につき入館者5名まで
団体 (20人以上)	350円	120円	50円	B 1,000円 1回につき入館者2名まで

お問い合わせ・ご予約は河北町紅花資料館 ☎0237(73)3500まで

人形のまち 埼玉県岩槻のプロの人形職人による 制作実演と制作体験

◆人形制作実演

- 4月2日(火)・3日(水)
午前11時～正午
午後1時～3時
- 北口公民館
(岩槻人形協同組合人形売場内)



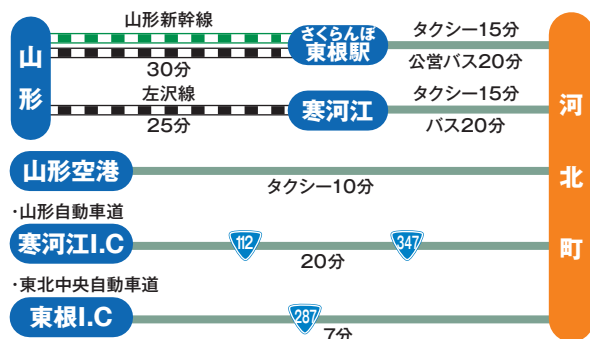
◆木目込人形制作体験

かわいい人形の制作体験ができます。

- 4月2日(火)・3日(水)
午前9時30分～午後3時30分
- 河北町コミュニティセンター
3Fホール

※体験は事前申込が必要です。木目込人形(イメージ)

お問い合わせは (一社)河北町観光協会
☎0237-72-3787まで



「日本の道百選」ひな市通り

雑とべに花の里・かほく

河北町役場商工観光課 ☎0237(73)5162
(一社)河北町観光協会 ☎0237(72)3787

やちひなまつり 検索



日本遺産
認定

谷地ひなまつり

珠玉の時代雑特別公開



有職雛

河北町谷地のひなまつりは月遅れの四月二日、三日に地区をあげて行われ、北口通りに「ひな市」が立つ。ここ谷地はみちのくひなまつり発祥の地といわれている。

当地に雛人形が多いのは、紅染めを見たいという郷人の願いに紅花商人が応えたかと思われる。当時紅染めを見せるには、紅の袴を着た雛を買ってくる以外に方法がなかったのである。また、日本一豪華で巨大な雛が並ぶ。布の染方や織方、衣装の仕立の技法が向上してくると、小さな雛では表現できない。衣装の全貌を明らかにし、財力と格式を誇示するために、有力商人は競って豪華な雛を購入したと考えられている。享保六年には八寸以下に制



嵯峨人形

限されたが、なかなか守られず、小さければいいのかと、頭と手が象牙という超高価な芥子雛が造られた。谷地には多彩な雛がある。初代雛屋次郎左衛門作の置上げ立雛を始め、寛永雛、元禄雛、数々の享保雛、古今雛、次郎左衛門座雛、有職雛、稚児雛、親王雛、芥子雛、さまざまな飾り人形、からくり人形、竹田人形、御所



享保雛

人形、雛道具など数え切れない。谷地では内裏雛を京都風に飾っている。天子南面して東方が上位であるから、向って右に男雛を飾る。京都から直移入した誇りを胸に京風にこだわって飾るのである。



段飾り・(平)大木平蔵作

山形県 河北町

日本遺産認定



③御所人形(細谷昌平家)
 当地に伝わる華やかな雛人形の一つです。本品は幼児をかたどった胡粉仕上げの人形で紅花染めの衣装をまとい、三頭身のあどけない顔つきの中に気品が漂います。



④からくり人形(竹谷義一郎)
 当地に伝わる華やかな雛人形の一つです。ぜんまいの取っ手を回すと台上の人形が舞や演奏の仕草を始めます。本品は楽人が大太鼓を打ち鳴らし回転する仕掛けです。

最上紅花と呼ばれた当時の紅花は米の百倍金の十倍といわれるほど高価で、この紅花交易により町へもたされた華麗な雛人形は、旧暦のひなまつりである四月二日・三日に旧商家の方々の自宅や蔵に展示され、谷地ひなまつりとして一般公開されている。

その中には平成三十年五月二十四日に日本遺産に認定されたものも展示されている。かつての紅花貿易がもたらした上方文化に触れることで、今でもその豪華さと現存する数の多さにより、谷地ひなまつりを訪れる人々を魅了し続けている。



①次郎左衛門置上げ立雛(鈴木英友家)
 紅花で栄えた商家が上方から買いためた華やかな雛人形が当地には数多く残っています。本品は京都の人形師初代雛屋次郎左衛門の作で、丸顔、引き目、かざ鼻、朱点の口が特徴です。



⑦享保内裏雛(紅花資料館)
 当地に伝わる華やかな雛人形の一つです。本品は座高86.5釐と大ぶり、顔の胡粉磨きや眉目の描きぶりが実に見事です。紅花で栄えた商家と上方との結び付きを示す資料としても、高い価値があります。



日本遺産認定



ひな供養

- ◆ 神事 4月2日・3日 午後2時
- ◆ 受付 午前10時〜午後1時30分
- ◆ 初穂料 三、〇〇〇円から

雛の節句は、その昔から厄除のころをもりこんだまつりといわれ、今日でも地方によっては、日常生活での罪やけがれを素朴なひな(形代)に託し、川に流す風習などが残っています。谷地ひなまつりでは、秋葉神社境内の「ひな塚」の前で、古い雛や形代に雛料理を供え、私たちの健康と幸福を願う「ひな供養」の神事が行われます。



時代雛公開

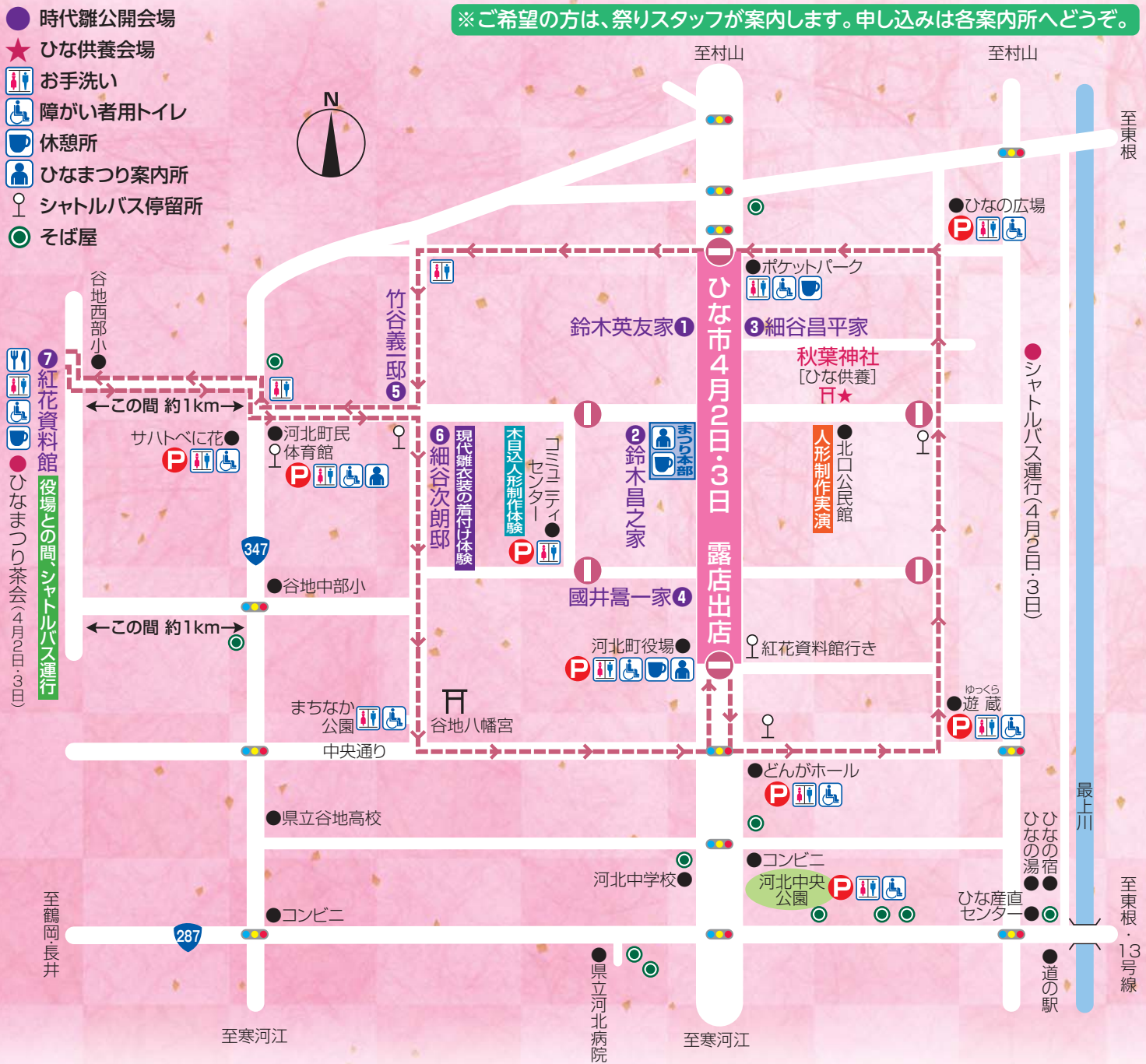
- ① 鈴木英友家(3月29日)〜4月3日(※) …… 大人400円
- ② 鈴木昌之家(3月29日)〜4月3日(※)
- ③ 細谷昌平家(4月2日)〜4月3日(※) 各々 大人300円
- ④ 国井嵩一家(4月2日)〜4月3日(※)
- ⑤ 竹谷義一郎(4月2日)〜4月3日(※)
- ⑥ 細谷次朗郎(4月2日)〜4月3日(※)

紅花資料館及び右記2ヶ所を觀賞できる観覧券…500円
 ※鈴木英友家は、現地で1000円の追加分をお支払いください
 小・中学生は一律100円

現代雛? なりきり写真撮影会

会場 ⑥細谷次朗郎(4月2日・3日)
 十二単等の衣装を着ての「フोटोजェニック」スポット
 ※ご自身のカメラ等をご準備ください。

※ご希望の方は、祭りスタッフが案内します。申し込みは各案内所へどうぞ。



- 時代雛公開会場
- ★ ひな供養会場
- ♿ お手洗い
- ♿ 障がい者用トイレ
- ☕ 休憩所
- 👤 ひなまつり案内所
- 🚏 シャトルバス停留所
- 🍜 そば屋

7 紅花資料館 役場との間 シャトルバス運行
 ひなまつり茶会(4月2日・3日)